

令和3年度 緑の環境調査



佐久市生きもののさがし



調査報告書

令和4年3月

佐久市 環境政策課



目 次

はじめに・生物多様性とは	1
調査方法・内容・期間・報告数	2
分布図の見方・注意	3
第1章 調査対象種	
1 コウモリ類	4
2 ヤモリ	6
3 ゲンゴロウ	8
4 ヒバリ	10
5 タンポポ	12
6 テントウムシ	14
第2章 調査対象種以外	
調査員から寄せられた メッセージ	37
考察専門員の先生から	38
まとめ	40

はじめに

「緑の環境調査」は、市の自然環境の状態を探るとともに、環境保全に対する市民の皆さんの意識高揚を図る目的で、平成4年度から実施しています。

毎年度調査対象種を選定し、市民の皆さんからの目撃・確認報告をしていただくことで、市内の生物多様性を把握する基礎資料となっています。

平成30年3月に、「佐久市生物多様性地域戦略」を包含した市の環境行政の基礎となる「第二次佐久市環境基本計画」を策定しました。

その中で指標生物に定められた11種の中から3種と、市内各地で観察が可能な3種を選定し、今年度の「佐久市生きものさがし」を実施しました。

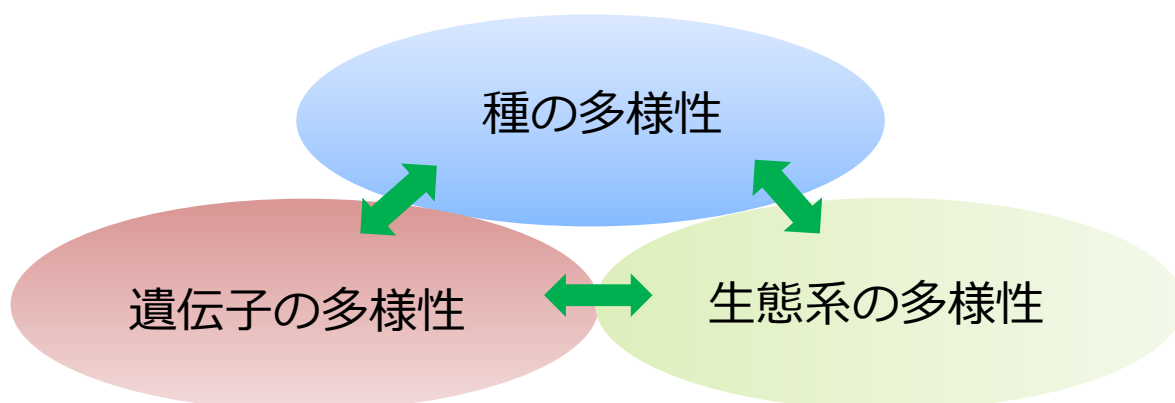
生物多様性とは

生物多様性とは、生物の豊かな個性のつながりのことです。地球上の生物は40億年という長い歴史の中で、さまざまな環境に適応して進化し、3,000万種ともいわれる多様な生物が生まれました。これらの生物は一つひとつに個性があり、全て直接的・間接的に支えあって生きています。

生物の多様性に関する条約では、「生態系の多様性」、「種の多様性」、「遺伝子の多様性」の3つのレベルで多様性があるとしています。

生物多様性の保全には、地球温暖化対策と同様、早急な対応が必要です。

多様性の3つのレベル



生態系の多様性：草地や森林、海洋などさまざまな生態系のこと

種の多様性：さまざまな動植物が生息・生育していること

遺伝子の多様性：同じ種でも個体ごとに遺伝子がさまざまであること

調査方法

報告は、ハガキ、メール、電話、Twitter、LINE、FAXにて募集しました。また、市立図書館や佐久市子ども未来館にも報告コーナーを設けました。その他に、学校や家庭での地球温暖化防止に向けた活動を推進するため、「わが家のエコ課長」を委嘱している市内の小学4年生の皆さんにもご協力いただきました。

調査票

令和3年度 緑の環境調査
佐久市 生きものさがし

調べる期間：令和3年4月～令和3年12月
調べる地域：佐久市内で発見した生きものを報告してください。

こんなところを探してみよう！
生きものたちを見つけるヒントになるかも！

生きものさがし
生きものさがし
生きものさがし

生きものさがし
生きものさがし

コーナーの様子



調査内容

佐久市内で見つけた、調査対象種6種とめずらしい生きものや見たことのない生きもの、見つけた生きものについて、「種類」「場所・環境」「日にち」「数・特徴」「気づいたこと・感想」を報告していただきました。

調査期間

令和3年4月1日～令和3年12月31日

報告数

1,471件

※1つの生きものを1件とする。

(内訳) 一般： 477件

小学生： 994件

分布図の見方

結果の分布図は、報告により場所が分かるものを記載しています。

したがって、報告で場所が特定できなかったものは記載していません。

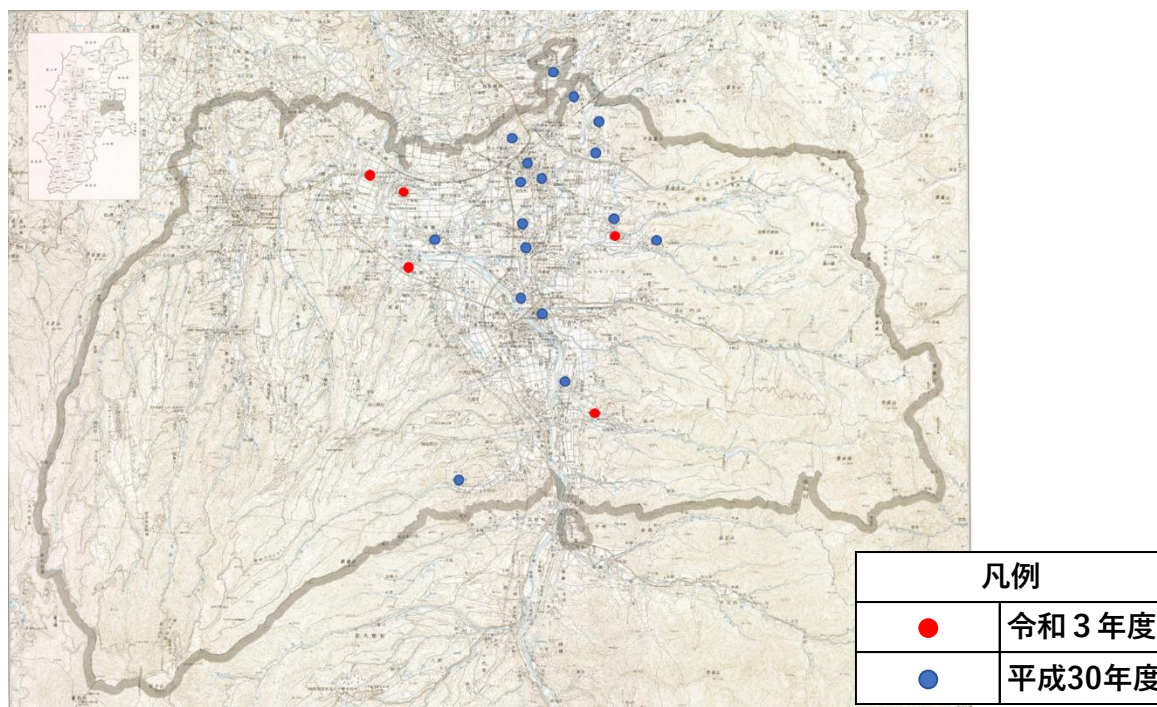
また、同一地点で複数の報告があった生きものもいます。

そのため、報告件数と分布図上の地点数は一致していません。

また、赤色の点は令和3年度報告地点、青色の点は平成30年度報告地点です。

(下図参照)

(例図)【令和3年度】報告件数11件、報告場所不明件数3件、同一箇所の報告1か所
(うち1か所は報告が3回)



注意

この調査は市民の皆さんにご協力いただき、身近な場所や出かけた先で見つけた生きものを報告していただいています。

そのため、どこにどんな生きものがいたかということを示すものであり、そこにいる数を示すものではありません。

また、市内全域について調査を行っているものではないため、記載のない場所にその生きものはいないということを示すものではないということをご了承ください。

第1章 調査対象種

1 コウモリ類

特徴

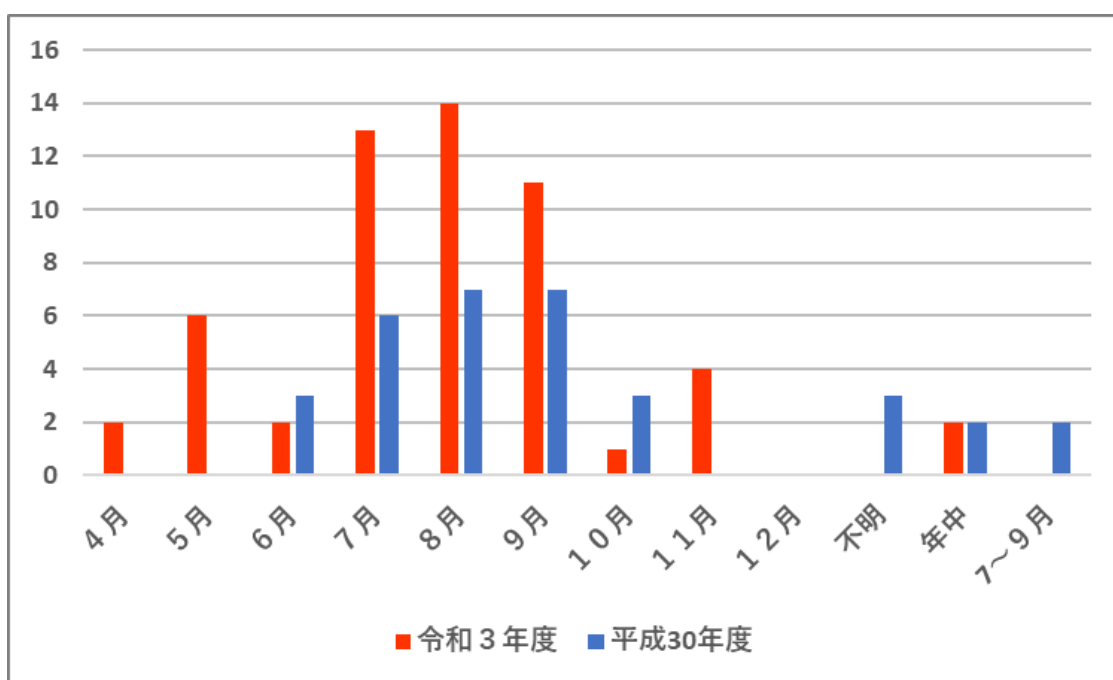
- ・コウモリ目
- ・夜行性
- ・鳥類ではなく哺乳類
- ・羽ばたきが激しく、キーキーと高い声を出す
- ・家の屋根裏にいたり、小さなフンが落ちていたり
- ・市街地、里山の指標生物



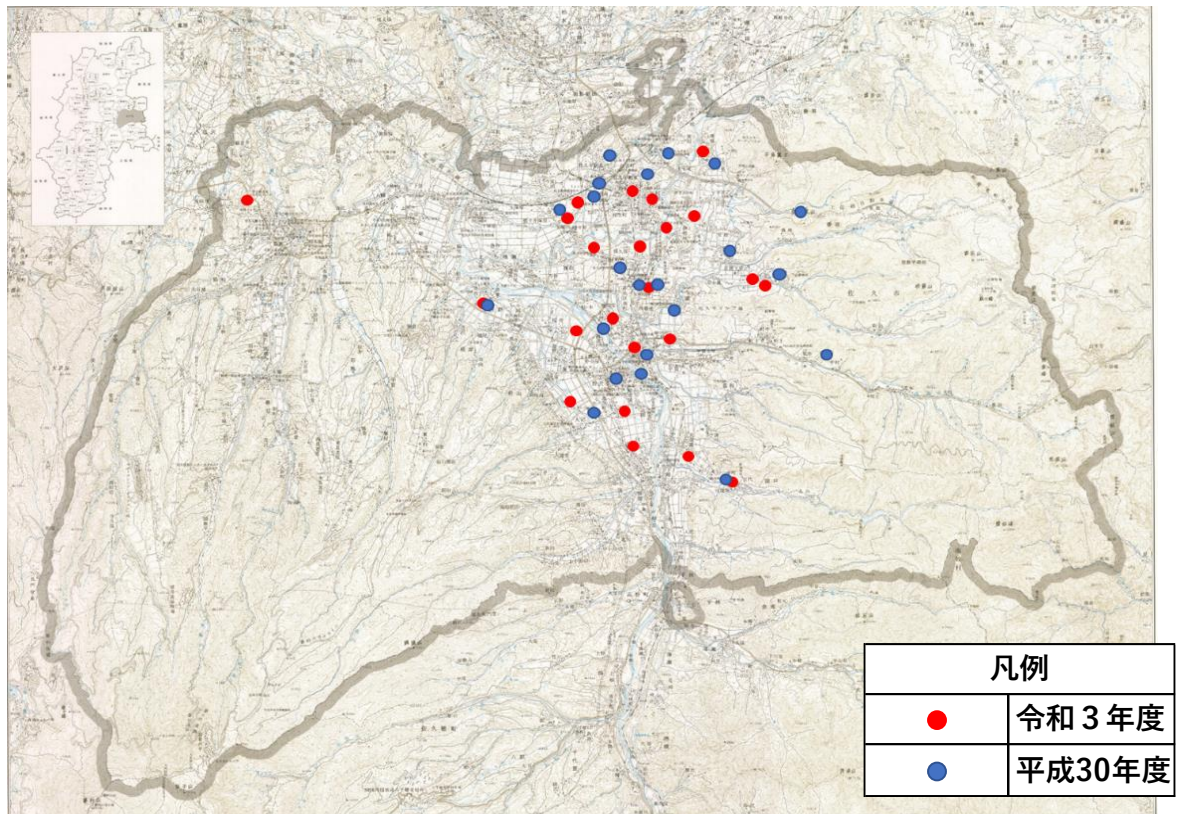
報告件数 55 件

見つけた時期

(件)



分布図



コウモリは4月から11月にかけて報告がありました。

平成30年度同様、夏に多く見られましたが、夕方の時間が長くなり、目撃しやすかったからだと考えられます。

報告場所は、自宅や学校、新幹線の高架下など、比較的人が多い場所での報告がほとんどでした。

3年前の調査結果と比べると、生息地もそれほど変化がないように見受けられます。

特に高架下では、最大60匹見たという報告もあったので、大きな集団を作って行動しているのかもしれません。

えものを見つけ方

小型のコウモリは、超音波(人間には聞こえない高い音)を出して、えものとなる昆虫などに当たった音が返ってくるのを感じて見つけます。

これをエコーロケーションといいます。

また、沖縄などに分布するオオコウモリの仲間は、視覚や嗅覚を使ってえものを見つけてます。

2 ヤモリ

特徴

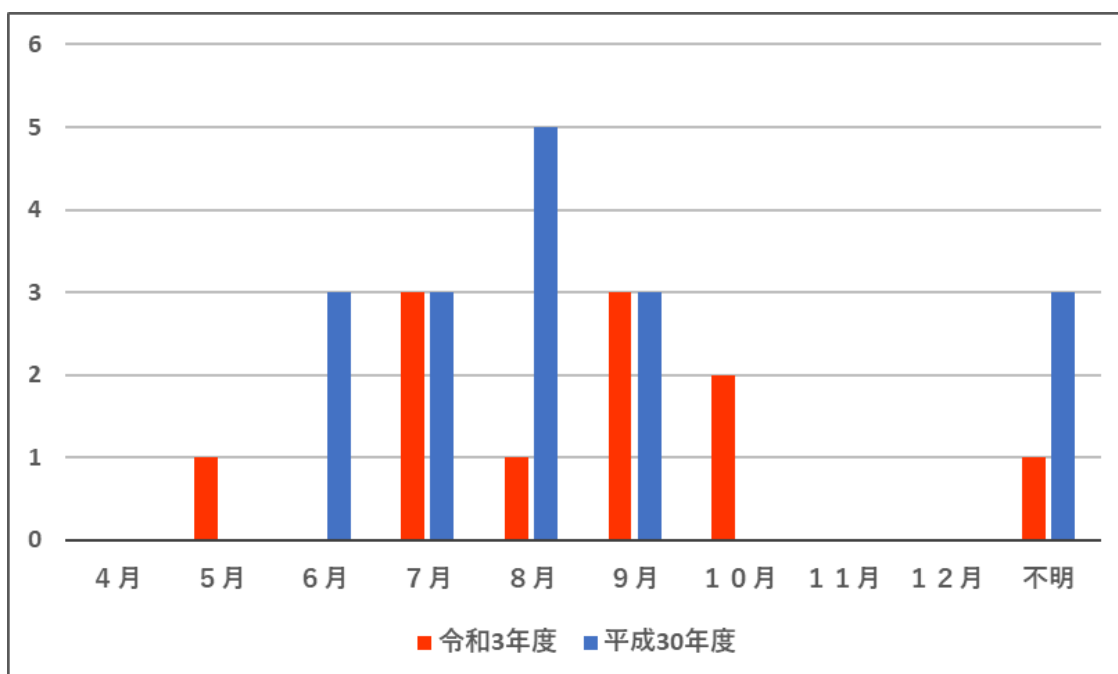
- ・有隣目ヤモリ科
- ・爬虫類
- ・古い住宅地や商店街で目撃される
- ・夏の夜には建物の壁や窓、網戸にくっついて
いることが多い
- ・トカゲの仲間で、両生類の「イモリ」とは違い、水中生活は行わない
- ・市街地の指標生物



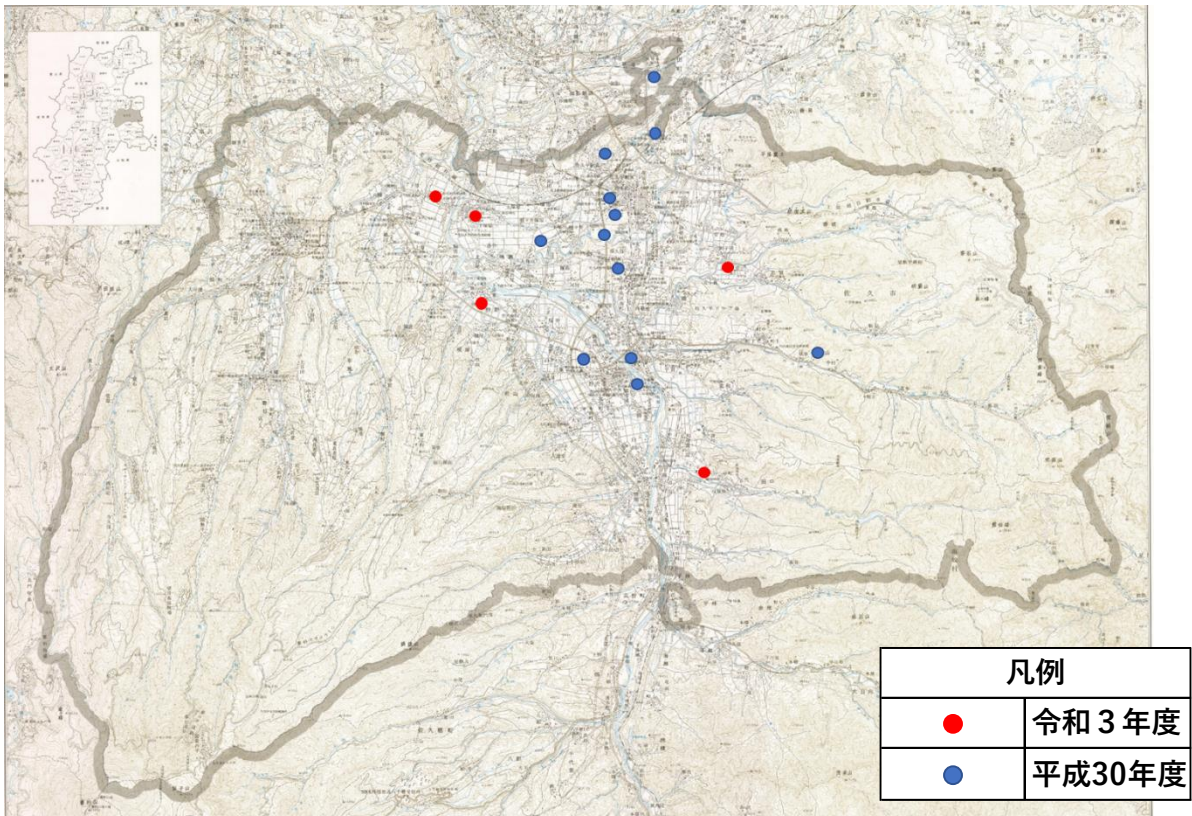
報告件数 11 件

見つけた時期

(件)



分布図



5月から10月にかけて報告がありました。

令和3年は佐久市を含め、全国的に見ても年間を通して気温の高い状態になることが多く、ヤモリも活動しやすかったため、長い期間で報告があったかもしれません。

平成30年度とは異なり、浅科周辺や志賀、田口などで報告がありました。

報告場所は、平成30年度は自宅だけでなく、駅周辺やコンビニなど、屋外の様々な場所からの報告が多かったのに比べ、令和3年度は自宅やその周辺で見かけた方がほとんどでした。

調査の中で、「ヤモリを見たことがない」、「もうこの辺にヤモリはいないかもしれない」という声もありました。

環境省のレッドリストや複数の県において、準絶滅危惧や一般保護生物として位置づけられているので、今後も注目していく必要があります。

3 ゲンゴロウ

特徴

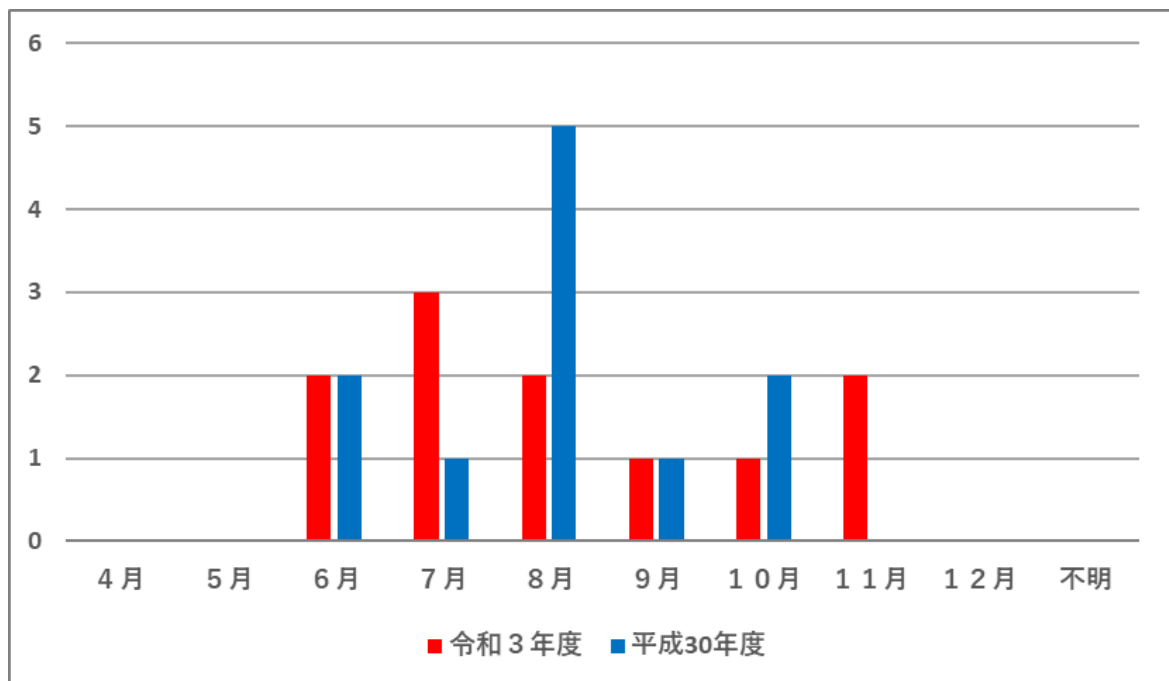
- ・コウチュウ目ゲンゴロウ科
- ・大きさは3～4センチ程度
- ・昆虫類や小魚類をエサとする
- ・水田や池などの止水域に生息する
- ・環境省レッドリスト 絶滅危惧Ⅱ類
- ・長野県版レッドリスト 準絶滅危惧種



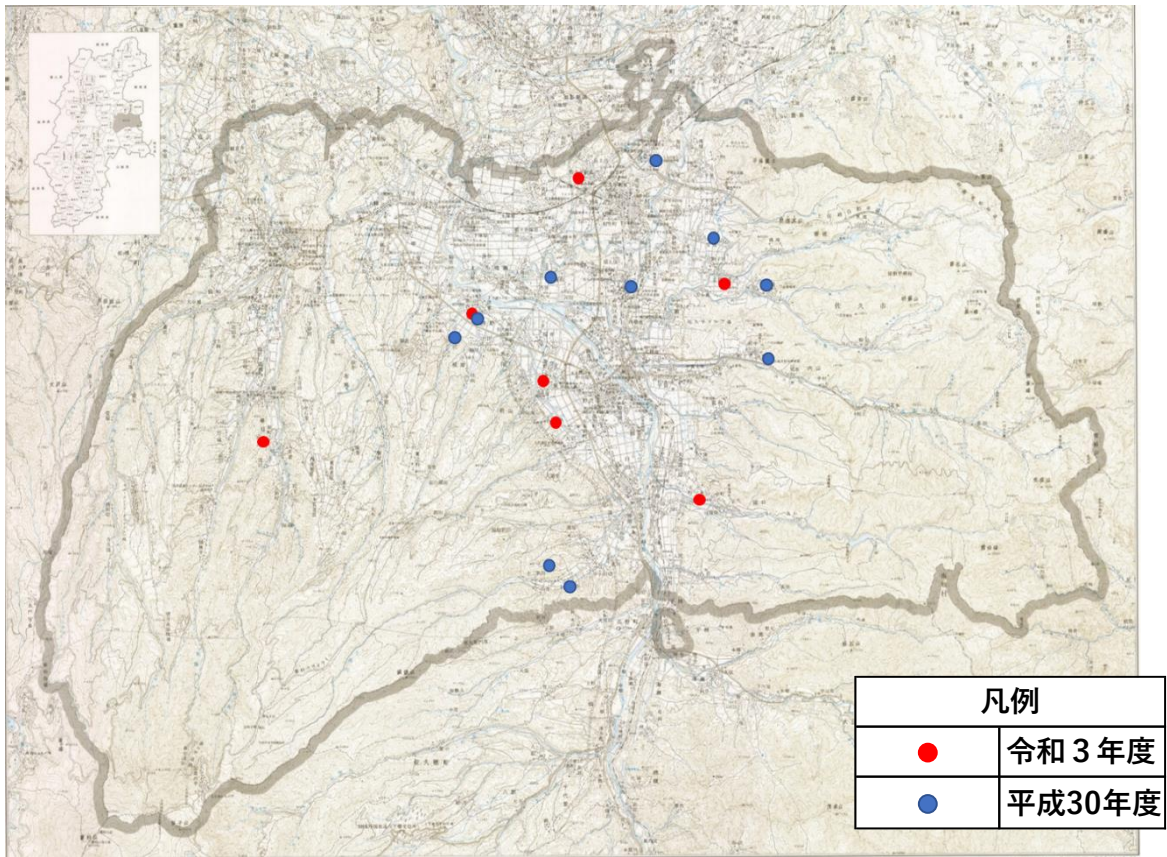
報告件数 11 件

見つけた時期

(件)



分布図



ゲンゴロウは、近年は、用水の護岸工事が進んだことや農薬を使用した農業の効率化、水質汚染、外来生物の増加などにより個体数の減少が危惧されており、環境省のレッドリストで絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。

報告場所は、平成30年に報告が多かった水田や、池、川、道など新たな場所でも報告がありました。

かつての市内では、食用にするほど多く確認されたゲンゴロウですが、報告件数は平成30年度と変わらず、今後も個体数の増減を定期的を確認する必要があります。

調査員からの写真



春日



シマゲンゴロウ
佐久平浅間小学校



中込

4 ヒバリ

特徴

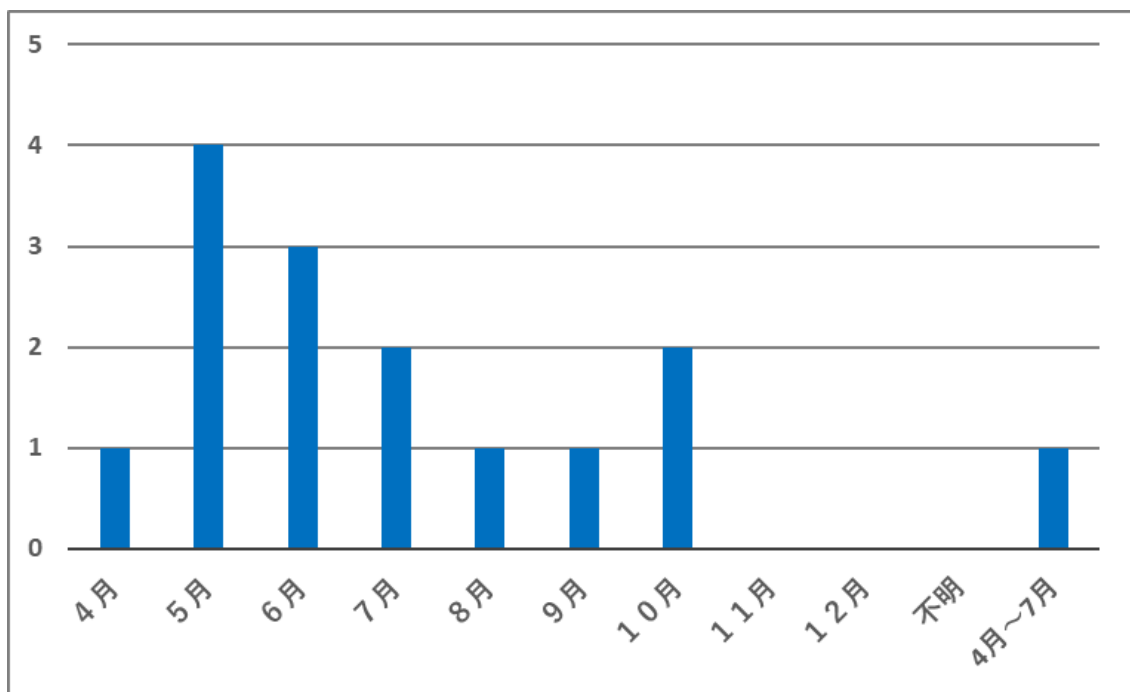
- ・スズメ目ヒバリ科
- ・スズメくらいの大きさで、頭に短い冠羽がある
- ・ところどころに土が見えるような丈の低い草地、河原に棲む
- ・「ピー、ジュルジュル」と鳴く



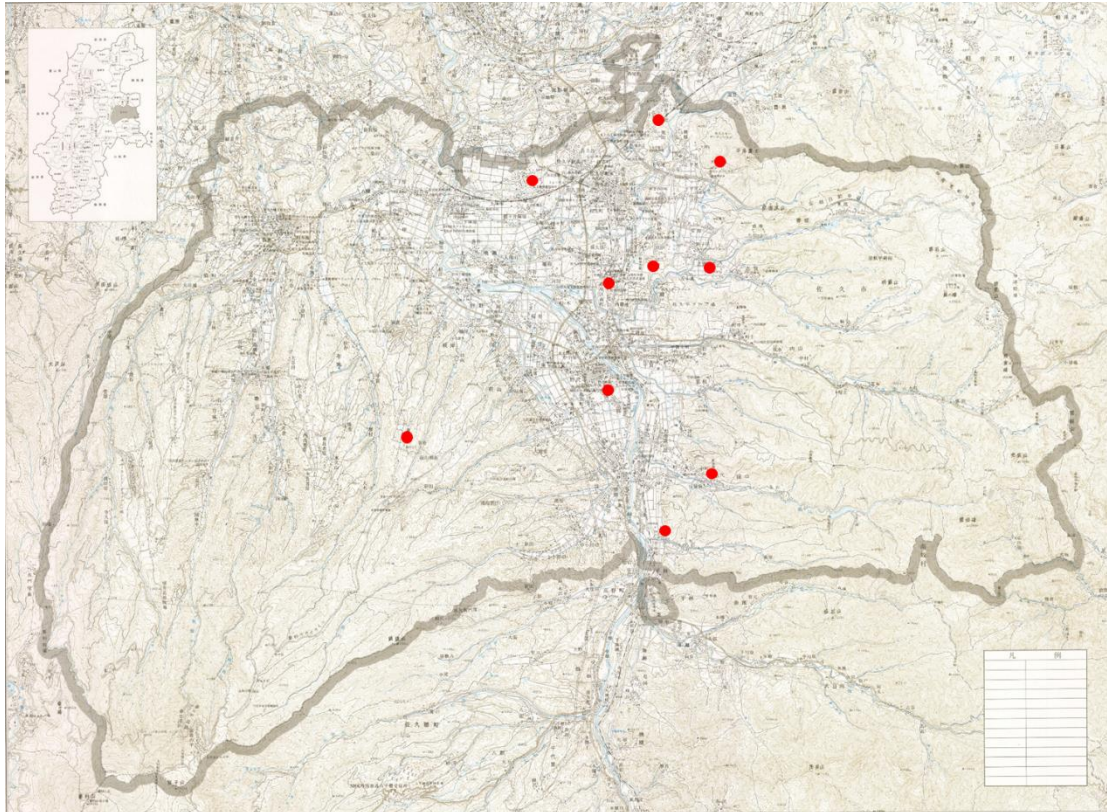
報告件数 15 件

見つけた時期

(件)



分布図



ヒバリは、低地の開けた場所にある草地などを主な生息域とする鳥です。

近年は開発などにより、生息域及び個体数の減少が心配されています。

今回の調査では、報告場所は、家畜改良センターで複数あった他、自宅周辺や通学路など身近な場所での報告がありました。

また、その中には鳴き声が聞こえたという報告も複数あり、鳴き声による生きものさがしができた方も多かったようです。

ヒバリは留鳥なので一年を通して見ることができますが、特に春に報告が多かったのは、繁殖期のオスがメスを呼ぶために、長い時間鳴き続けるという生態が関係していると考えられます。

調査員からの写真

家畜改良センター
ヒバリ(メス)



5 タンポポ

特徴

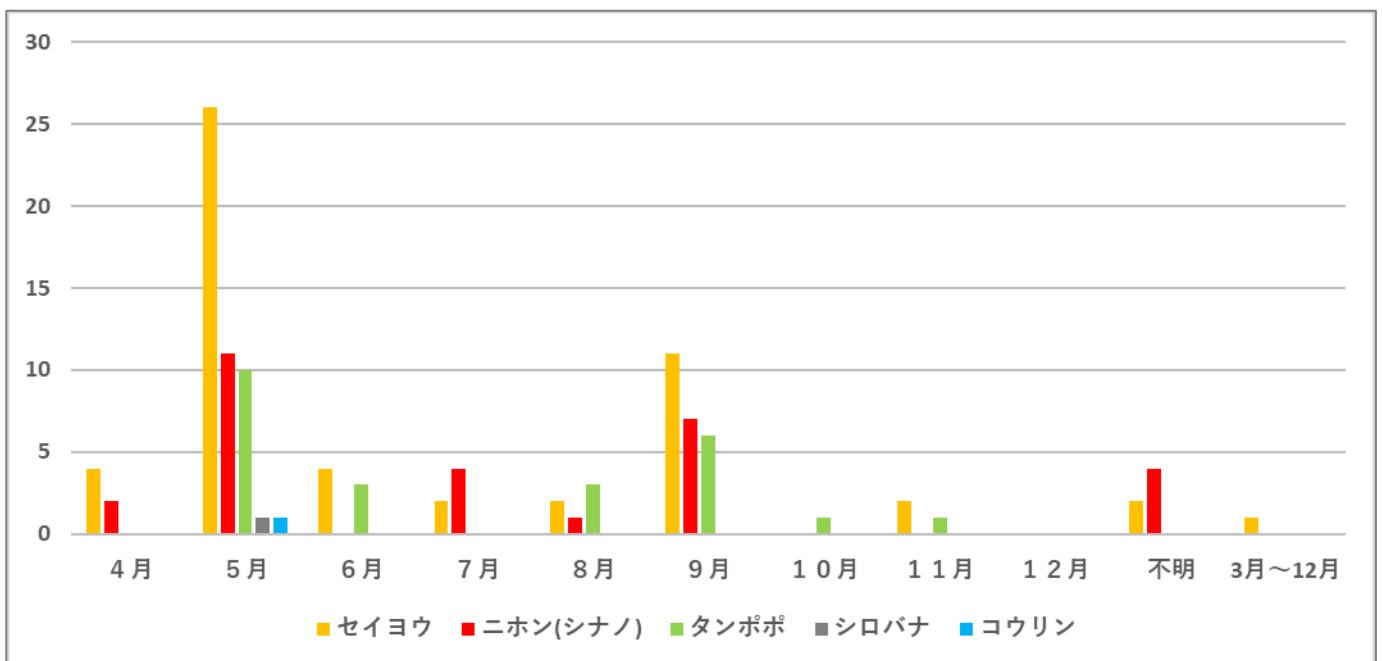
- ・キク目キク科
- ・シナノタンポポなどのニホンタンポポの花期は4月～5月であり、セイヨウタンポポは3月から10月ごろ
- ・ニホンタンポポは自然の草地で見られるが、セイヨウタンポポは市街地などでも見られる



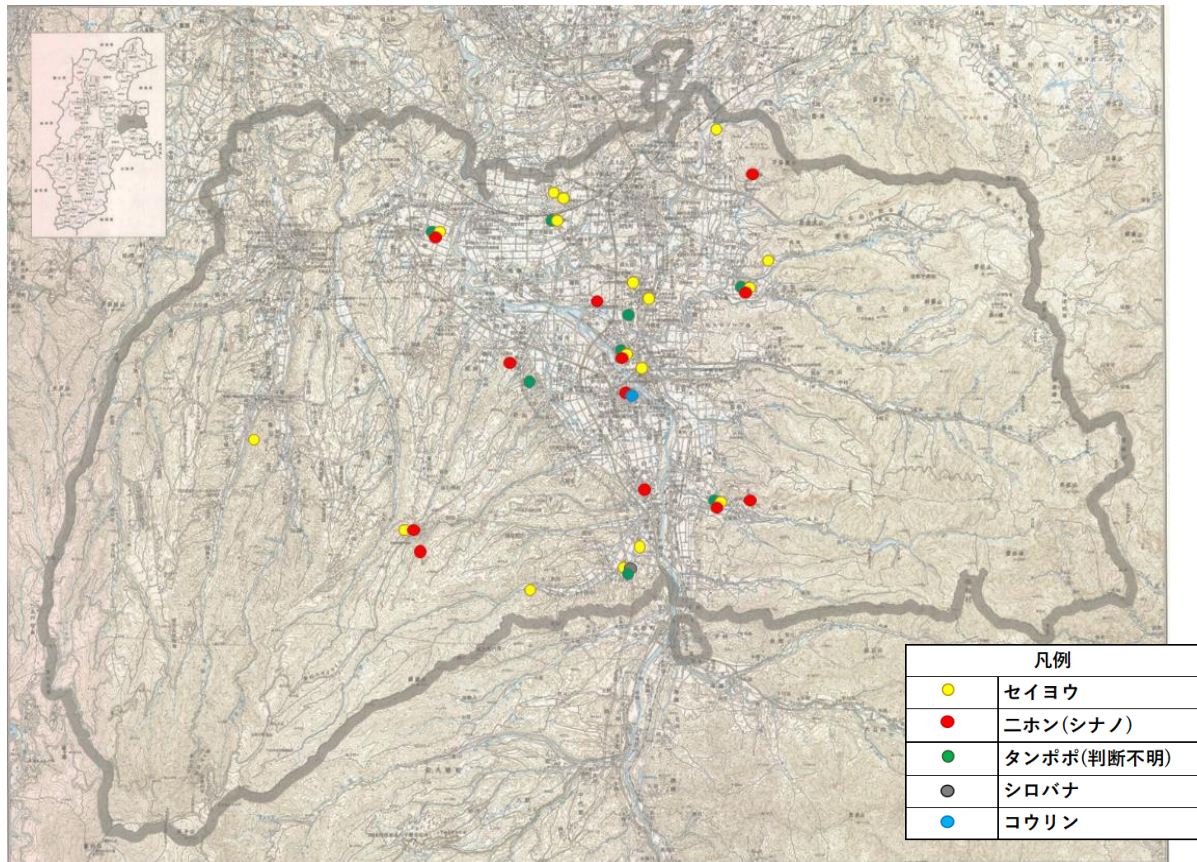
報告件数 109 件

見つけた時期

(件)



分布図



花の下部(総苞外片)を見て、何タンポポか判別した報告が多かったです。

報告の数は、セイヨウタンポポが 54 件、ニホン(シナノ)タンポポが 29 件、シロバナタンポポとコウリンタンポポが 1 件ずつ、判別不明のタンポポが 22 件でした。

セイヨウタンポポは、報告の中で一番多く、市内の様々な場所で見られました。

花期が長いため、報告いただいたように 11 月頃まで見られる場合がありますが、在来のタンポポと生育場所を取り合い、追い払ってしまったり、在来のタンポポと雑種を形成してしまうという危険もあるタンポポです。

ニホン(シナノ)タンポポは、4月から5月に咲くタンポポで、日本に古くからあるタンポポです。

今回の報告では、セイヨウタンポポと一緒に生えているような場所もあり、そこにあるタンポポは、総苞外片がそれほど反り返っていなくても、ニホン(シナノ)タンポポとセイヨウタンポポの雑種の可能性が高いです。(詳しくは巻末の「考察専門員の先生から」)

また、シロバナタンポポという珍しいタンポポや、コウリンタンポポといったオレンジ色のタンポポも確認されました。

6 テントウムシ

特徴

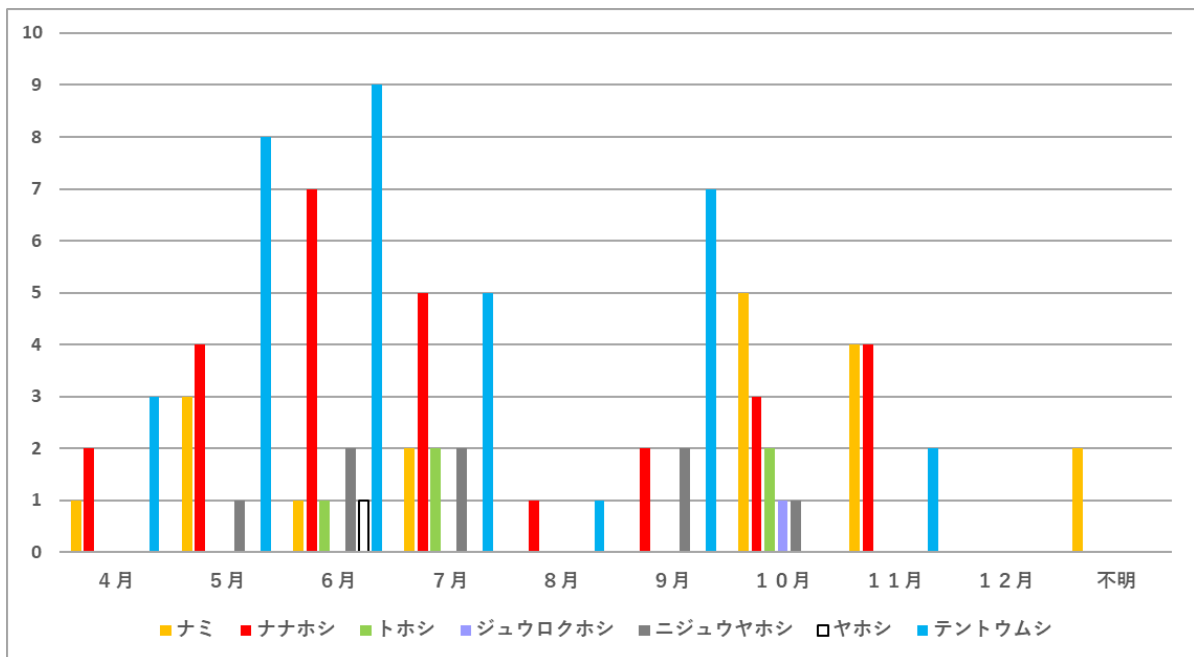
- ・コウチュウ目テントウムシ科
- ・大きさは5～8ミリ程度
- ・身を守るために足の関節から液体を出す
- ・アブラムシ以外に、他の昆虫や植物などを食べるテントウムシもいる



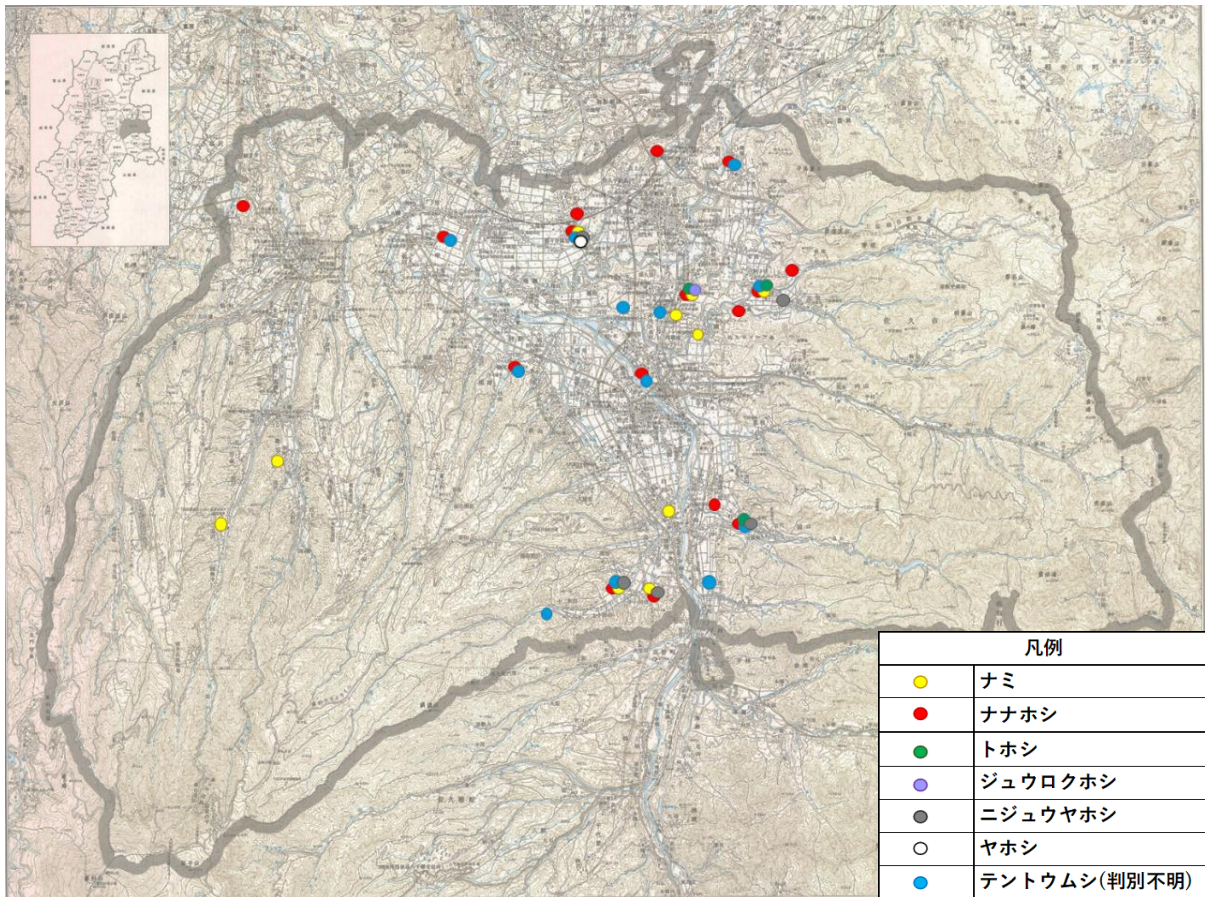
報告件数 96 件

見つけた時期

(件)



分布図

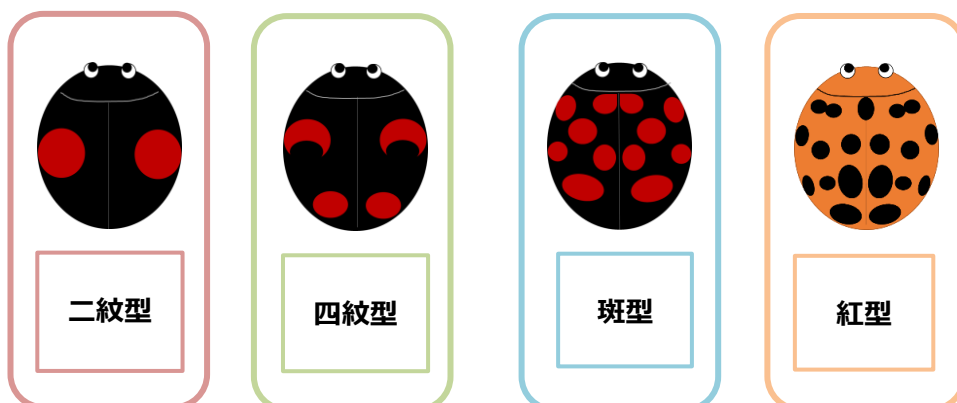


今回の報告では6種類のテントウムシを確認することができました。

報告された数は、ナナホシテントウが28件、ナミテントウが18件、ニジュウヤホシテントウが8件、トホシテントウが5件、ヤホシテントウとジュウロクホシテントウが1件ずつ、判別不明のテントウムシが35件となりました。

ナミテントウには様々な模様がありますが、平成21年に平尾山周辺で行われた調査では、二紋型、四紋型、斑型、紅型の4つの型について、二紋型が圧倒的に多く、四紋型と紅型が同じくらい、斑型が少ないという結果となっています。

今回の報告では、二紋型が多く、次に四紋型と斑型が多かったです。



調査員からの写真(タンポポ)



↑小宮山
セイヨウタンポポ



↑春日
セイヨウタンポポ

野沢→
コウリントンポポ



↑虚空蔵山
二ホン(シナノ)タンポポ



旧美笹自然観察園→
二ホン(シナノ)タンポポ

調査員からの写真(テントウムシ)



春日



春日

ナミテントウ



春日



茂田井



田口

ナナホシテントウ

第2章 調査対象種以外

報告件数 1,174件 (全報告数1,471件の内数)

2-1 昆虫類

報告件数 505件 / 1,174件中

種類	発見場所 (発見日)
アカアシクワガタ	杉の木貯水池(9/9)、平尾山(6/9)
アカスジキンカメムシ	臼田(10/9)、他1か所
アカトンボ	浅科小学校(10/26)、田口小学校(9/19)、平尾山(8/1)、他4か所(9/8、9/23、9/26)
アカハネムシ	旧美笹自然観察園(5/22)
アカボシゴマダラ	平尾山(6/9)
アキアカネ	田口小学校(10/3)、他1か所
アゲハチョウ	切原(5/17)、他4か所(5/3、8/1、9/19)
アサギマダラ	岩村田(9月)、平尾山(6/30)、
アサマイチモンジ	杉の木貯水池(7/27)
アシナガバチ	岸野小学校(7/5)、中込(8/10)、他3か所(6/15、8/3、10/3)
アシフトハナアブ	志賀(不明)
アブ	中込(10/12)
アブラゼミ	平尾山(8/1、8/9)
アブラムシ	中込(5/5)
アミメカゲロウ	洞源湖(7/4)
アメンボ	浅科小学校(6/5、6/15、10/26)、切原小学校(6/7)、中嶋公園(5/4)、他4か所(5/5、5/23、6/14、6/21)
アリ	浅科小学校(6/14、6/15)、北中込駅(5/5)、虚空蔵山(6/21、7/5、7/11)、中嶋公園(5/5)、平根小学校(6/22)、他32か所
イカリモンガ	旧美笹自然観察園(5/22)
イチモンジチョウ	虚空蔵山(6/11)
イトトンボ	切原小学校(5/20、6月)、洞源湖(7/4)、

(ヤゴ含む)	他 5 か所(6/7、6/13、11/7、9/22、不明)
イナゴ	切原小学校(10/25)、 他 3 か所(8/21、10/10、10/25)
イボバッタ	不明(10/3)
イモムシ	虚空蔵山(6/21)、原(9/22)、他 1 か所(5/3)
ウスバキトンボ	旧美笹自然観察園(7/26)
ウスバシロチョウ	入澤(5/15)
ウチワヤンマ	虚空蔵山(8/23)
ウラギンヒョウモン	平尾山(6/9、6/30、7/29)
エゾイトトンボ	杉の木貯水池(6/12)
エゾゼミ	平尾山(8/7)
エルタテハ	杉の木貯水池(7/4)
オオカマキリ	不明(9/20)
オオシオカラトンボ	平尾山(6/23)
オオスズメバチ	虚空蔵山(6/21)、中込(9/30)、 平根小学校(6月上旬)
オオムラサキ	杉の木貯水池(7/18、8/8)、平尾山(8/9)
オオヤマカワゲラ	平尾山(6/30)
オオヤマトンボ(ヤゴ)	洞源湖(7/4)
オナガアゲハ	杉の木貯水池(9/6)
オニヤンマ	雨川ダム(8/20)、春日(8/23)、市役所(9/13)、 平尾山(8/30)、滑津川(8/6)、 他 2 か所 (8/6、9/26)
カ	浅科小学校(6/21)、虚空蔵山(6/21)、 他 1 か所(8/8)
ガ	切原小学校(6/15)
カナブン	杉の木貯水池(7/22、7/24)
カブトムシ(幼虫含む)	杉の木貯水池(7/22、9/1)、不明(6/20、8/2)
カマキリ(卵含む)	切原小学校(11/1)、虚空蔵山(6/11、6/21、7/11) 田口(8/28)、田口小学校(9/22)、 中込(5/5、8/27)、 他 4 か所 (7/12、8/4、10/30、11/1)
カマドウマ	平尾山(8/7)
カミキリムシ(幼虫含む)	内山(7/23)、不明(5/3)
ガムシ	中込(10/15、10/16)
カラストンボ	不明(7/16)
カワトンボ	旧美笹自然観察園(5/22)

キイロスズメバチ	中込(5/14)、平尾山(7/29)
キタテハ	杉の木貯水池(4/20、7/22)、茂田井(6/17)
キバネツノトンボ	平尾山(5/30)
キマダラモドキ	旧美笹自然観察園(7/15)
キリギリス	平尾山(8/9)、他1か所(5/1)
キリボシカミキリ	取手町(7/14)
ギンヤンマ(ヤゴ含む)	洞源湖(7/17、7/18)、平賀(9/6)
クサキリ	志賀(不明)
クスサン	取出町(10/8)
クマゼミ	平尾山(7/29)
クマバチ	虚空蔵山(6/21)
クマンバチ (スズメバチもしくはクマバチの俗称)	上小田切西公民館(5/9)、岸野小学校(7/6)、 虚空蔵山(6/21)、猿久保(6/24)、三家(4/30)
クリオオアブラムシ	中込小学校(4/30)
クルマバッタモドキ	さくらさく小径(9/24)
クロコノマチョウ	杉の木貯水池(8/18)
クロヤマアリ	成知公園(5/1)
クワガタ	岸野小学校(6/21、7/10、7/15)、 杉の木貯水池(7/27)、田口(7/7)、不明(7/7、7/27)
ケムシ	虚空蔵山(6/11、6/21、7/11)、 他3か所(5/8、6/15、7/14)
ケラ	不明(8/15、10/29、10/30)
ゲンジボタル	田口(7/8)
コオニヤンマ	虚空蔵山(6/22)
コオロギ	浅科小学校(10/26)、虚空蔵山(6/21)、塚原(8/2)
コカゲロウ	さくらさく小径(5/1)
コガネムシ	内山(7/24)
コカマキリ	不明(9/25、9/27)
ゴキブリ	臼田(4/30)
コクワガタ	岸野小学校(7/15)、杉の木貯水池(8/31、10/9)、 中込(7/19、7/21)
コシアキトンボ(ヤゴ含む)	旧美笹自然観察園(6/24、7/15)、洞源湖(7/4)
ゴマダラカミキリ	さくらさく小径付近の千曲川(7/27)
ゴマダラチョウ	杉の木貯水池(6/12、8/8)
コミスジ	旧美笹自然観察園(5/15)、虚空蔵山(8/23)、 杉の木貯水池(5/9)、不明(5/1)

コムラサキ	杉の木貯水池(7/28)
コメツキバツタ	切原小学校(5/21)
サカハチチョウ	平尾山(6/15)
シータテハ	杉の木貯水池(11/6)
シオカラトンボ(ヤゴ)	洞源湖(7/4)
シオヤトンボ	平尾山(4/19)
シャクトリムシ	虚空蔵山(6/11)、田口(9/12)
ジャノメチョウ	中込(8/10)
ショウジョウトンボ	旧美笹自然観察園(6/24)
ショウリョウバツタ	浅科小学校(10/26)、臼田(10/2)、 杉の木貯水池(9/16)
シラホシハナムグリ	杉の木貯水池(7/24)
スズメバチ	浅科小学校(6/15)、新子田(10/11)、 清川(10/14)、虚空蔵山(6/21)、 五稜郭公園(7/25)、杉の木貯水池(9/1)、 平根小学校(6/24)、 他4か所(8/8、8/28、9/25、10/31)
スミナガシ	平尾山(8/7)
セイヨウミツバチ	中込(9/1)
セミ	駒場公園(8/8)、中佐都児童館(8/18)、 他4か所(7/15、8/3、8/10)
タイコウチ	田口(6/6)
タガメ	不明(5/30)
チャイロスズメバチ	湯原(8/6)
チョウ	浅科小学校(6/4、6/14)、虚空蔵山(6/21)、 杉の木貯水池(不明)、他2か所(8/7、8/8)
チョウトンボ	旧美笹自然観察園(7/15)、杉の木貯水池(9/4)
ツバメミスジ	杉の木貯水池(9/16)
ツマグロヒョウモン	臼田(8/5)、杉の木貯水池(9/6)、原(7/10)
テングチョウ	平尾山(4/3)
トンボ	浅科小学校(6/13、6/14、10/26)、 臼田小学校(10/19)、虚空蔵山(6/21、7/5)、 田口小学校(9/7)、塚原(7/25)、濁川(8/11)、 他17か所(5月から10月)
ニイニイゼミ	平尾山(7/29)
ノコギリクワガタ	杉の木貯水池(9/1、9/9)、他1か所(7/30)
ハエ	浅科小学校(6/13、6/14)、田口(8/2)
ハチ	浅科小学校(6/14)、大沢(9月)、

	岸野小学校(7/16)、虚空蔵山(6/11、6/21、7/16)、 中込(5/3)、中佐都児童館(8/16)、 他 1 か所(10/30)
バッタ	浅科小学校(6/14、10/26)、太田部(9/18)、 鍛冶屋(10/30)、虚空蔵山(6/21、7/5、7/15)、 田口(7/12、8/21、8/27)、中込(5/4)、 他 9 か所(6月~10月)
ハナアブ	中込(4/30)
ヒメアカタテハ	杉の木貯水池(10/5)
ヒメウスバシロチョウ	平尾山(5月)
ヒメウラナミジャノメ	中込(6/14)
ヒメセトトビケラ	志賀(6/16)
ブユ	虚空蔵山(7/5)
ヘイケボタル	春日(7/15)
ベニシジミ	杉の木貯水池(11/2)
ホシアシナガヤセバエ	平尾山(7/10)
ホタル	虚空蔵山(7/5)、千曲川(8/9)、田口(7/1)、 横和(7/10)、他 1 か所(7/7)
マツモムシ	洞源湖(7/4)
マユタテアカネ	茂田井(7/15)
ミズカマキリ	岸野小学校(7/13、7/15)、洞源湖(7/4)
ミツカドコオロギ	不明(9/28)
ミツバチ	浅科小学校(6/13、6/14)、上小田切(7/11)、 志賀(11/7)、中込(5/31)、中嶋公園(5/4)、 長土呂(4/20)、他 9 か所(5月~7月)
ミノムシ	臼田(8/1)
ミヤマカミキリ	杉の木貯水池(7/4)
ミヤマクワガタ	春日(8/27)
ミヤマシジミ	平尾山(5/11)
ミヤマセセリ	平尾山(4/19、5/4)
ミンミンゼミ	中津橋(8/16)
ムネアカオオアリ	横和(5/26)
ムナビロオオキスイ	杉の木貯水池(9/10)
モノサシトンボ	旧美笹自然観察園(6/24)
モンキチョウ	杉の木貯水池(9/9)、成知公園(5/3)、田口(9/23)、 塚原(8/15)
モンシロチョウ	青沼小学校(6/20)、浅科小学校(6/14)、 虚空蔵山(7/11、7/15)、さくらさく小径(5/3)、

	成知公園(5/1)、中込(5/3、5/5)、 中込小学校(5/3、5/4)、中佐都小学校(8/16)、 他3か所(5/2、5/4、5/5)
ヤゴ	浅科小学校(7/9)
ヤマトスジグロシロチ ヨウ	旧美笹自然観察園(6/24)
ヨツボシクサカゲロウ	原(9/8)
ヨツボシケシキスイ	杉の木貯水池(7/22、9/10)
ルリタテハ	旧美笹自然観察園(4/20)、杉の木貯水池(7/4)、 他1か所(4/3)
ルリボシカミキリ	杉の木貯水池(7/13、7/22)
名称不明	駒場公園(8/9)、三家(4/30)

調査員からの写真



横和 ホタル



平賀 ギンヤンマ



中込 カマキリ



平尾山 ルリタテハ

考察専門員の先生からのコメント

モンシロチョウ

白いチョウは全部モンシロチョウだと思いませんか？佐久市でふつうに見られる白いチョウには他にスジグロシロチョウとヤマトスジグロシロチョウがあり、モンキチョウの雌も実は白いチョウです。菜の花畑にいる白いチョウはほとんどモンシロチョウですが、それ以外の場所では注意してみてください。

ミツバチ

実はミツバチと言うのは日本の在来の昆虫ではありません。セイヨウミツバチと言う外来種なのですが、自然の生き物ではなく養蜂家が飼っている家畜なのです。ハチミツを採ったりリンゴの受粉などのために飼育されていますが、県知事への届け出が必要です。在来種にはニホンミツバチと言う別種もいます。

カマキリ

佐久市でもっとも普通にみられるのはオオカマキリです。春に産まれたオオカマキリの赤ちゃんは、夏の終わりに羽化して立派なカマキリになり、秋が深まると卵を産んで死んでしまいます。しかし卵が来春まで残りますので、冬になってもそこにカマキリがいた証拠が残ります。冬のカマキリ探しをしてみませんか？

ミズカマキリ

水の中にいるカマキリによく似た昆虫ですが、実はカマキリとは縁もゆかりもないカメムシの仲間です。他の虫を捕まえて食べる、という同じような暮らしをしているので、似た姿に進化してきたのです。海の中を泳ぐ哺乳類のクジラが、魚のようなかっこうをしているのと同じですね。

スズメバチ

スズメバチにはオオスズメバチ、キロスズメバチ、コガタスズメバチ、チャイロスズメバチなどの種類があり、地バチと呼ばれるクロスズメバチやシダクロスズメバチもスズメバチの仲間です。彼らは危険な生き物ですが、刺すのは全部メスで産卵管の変化した針が武器です。もともと産卵管のないオスは刺しません。

2-2 植物類

報告件数 180件 / 1,174件中

種類	発見場所(発見日)
アカツメグサ	虚空蔵山(6/21)
アケボノスミレ	平尾山(4/19、4/22)
アサガオ	塚原(8/18)、他1か所(9/26)
アサマヒゴタイ	平尾山(9/23)
アブラナ	中込(5/3、5/4)
イチゴ	田口(5/5)、中込(5/23)
ウメガサソウ	平尾山(6/15)
エゾノタチツボスミレ	平尾山(5/17)
オオイヌノフグリ	中込(5/4、5/5)、他2か所(5/3、5/4)
オオキンケイギク	長土呂(7/17)
オオヤマフスマ	虚空蔵山(5/12)
カキドオシ	杉の木貯水池付近の千曲川(4/13)
カザグルマ	虚空蔵山(5/28)
カタバミ	新海三社神社(5/24)
カワラサイコ	杉の木貯水池(6/14)
キツネノカミソリ	平尾山(6/25)
キバナヤマオダマキ	虚空蔵山(6/22)
ギンラン	旧美笹自然観察園(6/1)
クズ	茂田井(6/17)
クモキリソウ	旧美笹自然観察園(6/24)
クローバー	浅科小学校(6/14、10/26)
ケタチツボスミレ	平尾山(4/22)
ゲンジスミレ	虚空蔵山(5/12)
コケ	不明(6/11、6/15)
コスモス	不明(9/24、10/3)
コナギ	さくらさく小径付近の水田(9/5)
サクラ	浅科小学校(6/15、10/26、不明)
ササバギンラン	平尾山(5/17)
サツキ	田口(5/23)
シクラメン	田口(5/23)
ジシバリ	新海三社神社(5/24)
シバザクラ	中込(5/3、5/4)

ジューンベリー	中込(5/5)
シロスマレ	杉の木貯水池(4/20)
シロツメクサ	浅科小学校(6/14)、虚空蔵山(6/21)、 他 2 か所(6/14、不明)
シロバナエンレイソウ	旧美笹自然観察園(5/7)
スイセン	中込(5/1、5/3)
スマレ	不明(5/4、6/24)
ゼラニウム	中込(5/3)
タニギキョウ	旧美笹自然観察園(5/15)
チゴユリ	旧美笹自然観察園(5/15)
チダケサシ	虚空蔵山(6/22)
チューリップ	中込(5/3)、他 2 か所(5/1、5/4)
ツクシ	不明(10/6)
ツツジ	浅科小学校(5/4、6/5)
ツルカメバソウ	旧美笹自然観察園(5/22)
ツルニンジン	旧美笹自然観察園(8/26)
ドングリ	浅科小学校(10/26)、中込(5/5)
ナズナ	中込(5/5)、他 2 か所(不明)
ナツズイセン	多福寺(8/23)
ニリンソウ	平尾山(5/2)
ノハナショウブ	さくらさく小径(6/16)
ノミノツヅリ	新海三社神社(5/24)
バイカモ	大伴神社付近(6/14)
ハシリドコロ	平尾山(4/19)
ハナミズキ	中込(5/4)
バラ	田口(9/19)、他 1 か所(9/24)
ハンショウヅル	旧美笹自然観察園(6/10)
ヒガンバナ	さくらさく小径付近の水田(9/22)
ヒナギク	茂田井(6/17)
ヒナスミレ	平尾山(4/10)
ヒメアマナ	平尾山(4/19)
ヒメリンゴ	中込(5/5)
ヒレアザミ	虚空蔵山(5/28)
フクシマシャジン	平尾山(8/9)
フデリンドウ	平尾山(4/22)
ヘチマ	浅科小学校(5/26、6/14、6/20、9/27、10/26)
ヘビイチゴ	浅科小学校(6/14)、虚空蔵山(6/21)、

	他 2 場所(5/3、6/14)
ホタルカズラ	平尾山(5/11)
マーガレット	浅科小学校(6/14)
マイヅルソウ	旧美笹自然観察園(5/15)
ミズオオバコ	さくらさく小径付近の水田(8/16)
ミツバ	不明(6/14)
ミヤマウスラ	旧美笹自然観察園(8/26)
ムラサキケマン	旧美笹自然観察園(5/7)
ムラサキツユクサ	茂田井(6/17)
ムレスズメ	中込(5/5)
モミジ	浅科小学校(10/26)、他 1 場所
ヤエザクラ	不明(5/1、5/2)
ヤマシャクヤク	虚空蔵山(5/10)
ヨメナ	不明(5/5)
ヨモギ	不明(4/30)
ワスレナグサ	中込(5/4)
ワダソウ	旧美笹自然観察園(5/10)
名称不明	浅科小学校(6/15、10/26)

調査員からの写真



↑大伴神社付近 バイカモ



←平尾山
ホタルカズラ



旧美笹自然観察園 ハンショウヅル



新海三社神社 ノミノツヅリ

2-3 魚類・両生類・は虫類

報告件数 130件 / 1,174件中

種類	発見場所(発見日)
アオダイショウ	旧美笹自然観察園(5/15)、他1か所(8/22)
アマガエル	洞源湖(7/4)、取出町(5/13)、安原(7/27)
イモリ	切原小学校(6/4)
ウシガエル(オタマジ ジャクシ含む)	洞源湖(6/4、7/4、7/17、7/18)、他2か所(5/3、10/10)
オオクチバス	洞源湖(6/4、7/4、7/17、7/18)
オタマジジャクシ	不明(5/3、6/23)
カエル	さくらさく小径(5/2)、田口小学校(5/25)、他47か所(5月~11月)
カメ	塩名田(8/24)
コイ	田口小学校(8/10)、洞源湖(7/4)、中込商店街(5/4)、中嶋公園(5/4)、
サカナ(名称不明)	濁川(8/11)
シマヘビ	岩村田小学校付近(7/14)
ジムグリ	桑山(9/27)
スナヤツメ	洞源湖(7/4、7/17、7/18)
ドジョウ	切原小学校(6/14)、洞源湖(7/4、7/17、7/18)、滑津川(8/6)
トノサマガエル	春日(9/12)、他2か所(7月、8/2)
ニホンカナヘビ	内山(10/28)、北川(5/3、5/29)、平尾山(5/7、8/6)、他1か所(10/31)
ニホントカゲ	臼田(11/11)、平尾山(8/6)、他4か所(8/2、8/13、9/26)
ハヤ	浅科小学校(6/4、6/14)
フナ	洞源湖(7/4、7/17、7/18)
ブルーギル	不明(5/2)
ヘビ	下平尾公民館(6/1)、東保育園(8/23)、他11か所(6月~10月)
メダカ	浅科小学校(6/13、6/14)、切原小学校(6/14)、滑津川(8/6)
モツゴ	洞源湖(7/4、7/17、7/18)
ヤマアカガエル	春日(9/13)
ヤマカガシ	臼田(11/11)

調査員からの写真



旧美笹自然観察園
アオダイショウ

洞源湖
ウシガエル



春日
ヤマアカガエル

洞源湖
オオクチバス



2-4 鳥類

報告件数 238件 / 1,174件中

種類	発見場所(発見日)
アイガモ	杉の木貯水池(9/2)
アオアシシギ	杉の木貯水池(9/10)
アオゲラ	旧美笹自然観察園(4/25)
アオサギ	さくらさく小径(5/4)、杉の木貯水池
アカゲラ	大河原峠(6/12)、旧美笹自然観察園(4/25)、杉の木貯水池(12/4)、平尾山(4/10)
アカトビ	中込(12/2)
アトリ	旧美笹自然観察園(4/25)
アマサギ	杉の木貯水池(8/31)
イカル	旧美笹自然観察園(4/25)
イソシギ	杉の木貯水池付近の千曲川(4/2)
イツツバメ	原(6/9)
ウグイス	大河原峠(6/12)、旧美笹自然観察園(4/25)、香坂集会所付近(4/13)
ウソ	大河原峠(6/12)
ウミネコ	杉の木貯水池(11/11)
エナガ	旧美笹自然観察園(4/20、4/25)、杉の木貯水池(10/22)
オオタカ	杉の木貯水池(9/2)、杉の木貯水池付近の千曲川(5/11)
オオバン	杉の木貯水池(7/7、11/27、12/4)
オオヨシキリ	杉の木貯水池(5/21)
オオルリ	大河原峠(6/12)
オオヨシガモ	杉の木貯水池(11/27)
オカヨシガモ	杉の木貯水池(11/17)
オシドリ	さくらさく小径付近の千曲川(4/28)
オナガ	原(8/12)、他1か所(8/4)
オナガガモ	杉の木貯水池(11/27)
カイツブリ	杉の木貯水池(11/27、11/29、12/4)
カケス	旧美笹自然観察園(4/25)
カシラダカ	杉の木貯水池(12/4)
カッコウ	大河原峠(6/12)、杉の木貯水池(6/5)、原(5/26)
ガビチョウ	旧美笹自然観察園(4/25)、杉の木貯水池(11/27)

カモ	不明(8/8)
カラス	浅科小学校(6/15)、市役所(9/2)、成知公園(5/2)、中込(5/4)、中込小学校(5/4)、他 1 か所(5/1)
カルガモ	杉の木貯水池(11/27、12/4)
カワアイサ	杉の木貯水池(11/18、12/4)
カワウ	杉の木貯水池(11/27、12/4)
カワセミ	杉の木貯水池(12/4、12/31、不明)
カワラヒワ	旧美笹自然観察園(4/25)、杉の木貯水池(6/21、12/4)、中込(4/29)、他 1 か所(4月)
カンムリカイツブリ	杉の木貯水池(9/6、11/27、12/4)
キアシシギ	杉の木貯水池付近の千曲川(5/1)
キジ	旧美笹自然観察園(4/25)、さくらさく小径付近の千曲川(4/8)、他 3 か所(4月～8月)
キジバト	大河原峠(6/12)、旧美笹自然観察園(4/25)
キセキレイ	大河原峠(6/12)、旧美笹自然観察園(4/25)、杉の木貯水池(12/4)
キビタキ	旧美笹自然観察園(4/25、5/7)
キンクロハジロ	杉の木貯水池(12/4)
クサシギ	杉の木貯水池(12/4、12/31)
クロジ	大河原峠(6/12)
クロツグミ	旧美笹自然観察園(4/25)
ケリ	野沢橋付近(10/10)
ゴイサギ	杉の木貯水池(5/21、6/5、7/22、8/31)、平尾山(7/10)
コガモ	杉の木貯水池(11/27、12/4)
コガラ	大河原峠(6/12)、旧美笹自然観察園(4/25)
コゲラ	大河原峠(6/12)、旧美笹自然観察園(4/25)、杉の木貯水池(12/4、12/21)
コサギ	杉の木貯水池(8/31、9/4)
コサメビタキ	旧美笹自然観察園(5/6)
ゴジュウカラ	旧美笹自然観察園(4/25)
コチドリ	杉の木貯水池付近の千曲川(4/2、4/8)
コハクチョウ	杉の木貯水池(12/29)
コマドリ	大河原峠(6/12)
コムクドリ	原付近(5/5)
コルリ	大河原峠(6/12)
サギ	杉の木貯水池(11/27)、他 1 か所(8/7)

シジュウカラ	入澤(11/30)、大河原峠(6/12)、旧美笹自然観察園(4/25)、杉の木貯水池(12/4)
シメ	杉の木貯水池(12/4)
ジュウイチ	大河原峠(6/12)
ジョウビタキ	入澤(11/30)、杉の木貯水池(11/26、12/4)、他1か所(11/30)
スズガモ	杉の木貯水池(12/17)
スズメ	浅科小学校(6/14)、臼田児童館(4/30)、種月院(4/30)、杉の木貯水池(12/4)、中込(5/3、5/5)、中込児童館(4/30)、他7か所(5月~7月)
セグロセキレイ	杉の木貯水池(12/4)
センダイムシクイ	旧美笹自然観察園(4/25)
ダイサギ	杉の木貯水池(8/31、12/4)
タカ	中込(5/4)、中込小学校(5/3)、他2か所(10/10)
タシギ	千曲川(11/20)
チョウゲンボウ	さくらさく小径付近(4/4)
ツグミ	杉の木貯水池(4/23)
ツツドリ	旧美笹自然観察園(4/25)
ツバメ	浅科小学校(6/14)、北川(5/7)、切原小学校(7/12)、紅雲台(6/24)、中込(5/4、不明)、中込小学校(5/3)、他4か所(5/1、7/12、9/26)
トビ	石神(5/3)、種月院(5/1)、杉の木貯水池(11/27、12/4)、他1か所(5/5)
トモエガモ	杉の木貯水池(12/30)
トラツグミ	大河原峠(6/12)
ノスリ	杉の木貯水池(12/4)、平尾山(7/25)
ノビタキ	杉の木貯水池付近の千曲川(4/18)
ハイタカ	杉の木貯水池(11/23)
ハクセキレイ	杉の木貯水池(12/4)
ハシブトガラス	旧美笹自然観察園(4/25)、杉の木貯水池(12/4)
ハシボソガラス	旧美笹自然観察園(4/25)、杉の木貯水池(12/4)、他1か所(12/1)
ハト	岩村田(9/18)、中込(5/3)、他2か所(5/1、5/3)
バン	杉の木貯水池(5/20、9/6)
ヒガラ	大河原峠(6/12)、旧美笹自然観察園(4/25)
ヒドリガモ	杉の木貯水池(11/27、12/4)
ヒヨドリ	旧美笹自然観察園(4/25)、杉の木貯水池(12/4)、

	中込(5/3)
ビンスイ	平尾山(4/19)
ホオジロ	旧美笹自然観察園(4/25)、さくらさく小径(12/8)、 杉の木貯水池(12/16)、
ホオジロガモ	杉の木貯水池(11/29、12/4)、杉の木貯水池付近の千 曲川(11/29、12/31)
ホシガラス	大河原峠(6/12)
ホシハジロ	杉の木貯水池(12/18)
ホトトギス	大河原峠(6/12)
マガモ	杉の木貯水池(10/20、12/4、12/30)
マガン	杉の木貯水池(10/20)
マヒワ	旧美笹自然観察園(4/25)
ミコアイサ	杉の木貯水池(11/27、12/4、12/6)
ムクドリ	杉の木貯水池(4/4、12/4)、他 1 か所(8/8)
メジロ	旧美笹自然観察園(4/25)、洞源湖(4/18)、 平尾山(7/23)
メボソムシクイ	大河原峠(6/12)
モズ	大河原峠(6/12)、杉の木貯水池(12/4)
ヤブサメ	旧美笹自然観察園(4/18、4/25、5/6)
ユリカモメ	杉の木貯水池(11/12)
ルリビタキ	大河原峠(6/12)
名称不明	虚空蔵山(6/21)、他 2 か所(5/2、6/15)

調査員からの写真



←杉の木貯水池
バン

↓さくらさく小径付近
チョウゲンボウ



←原付近
コムクドリ



旧美笹自然観察園
コサメビタキ



平尾山
アカゲラ

2 - 5 ほ乳類

報告数 11件 / 1,174件中

種類	発見場所(発見日)
サル	シルバーランドみつい(9/4)、佐久市コスモホール(9/5)
二ホンイタチ	杉の木貯水池付近の千曲川(5/4)
二ホンジカ	内山(8/27、10/21、10/25)、旧美笹自然観察園(4/18)
ネコ	臼田(4/30)、他2か所(5/1、5/5)
ホンドリス	旧美笹自然観察園(4/25)



内山
二ホンジカ



杉の木貯水池付近千曲川
二ホンイタチ

2-6 その他

報告数 110件/1,174件

種類	発見場所(発見日)
アカダニ	中込(5/5)、他1か所
アメリカザリガニ	洞源湖(6/4、7/4、7/17、7/18)
オオタニシ	洞源湖(7/17、7/18)
カイ	浅科小学校(6/15)
カタツムリ	内山(10/26)、他2か所(5/3、6/25)
カニ	臼田(10/12)、虚空蔵山(6/21)、 滝区(6/26、6/28)、根岸(7/11)、 湯原(6/26、6/28)、他6か所(6/21、7/3、9/25)
キノコ	浅科小学校(6/15)、虚空蔵山(6/11、6/21、7/5)、 平尾山(10/9)、他4か所(6/15)
クモ	浅科小学校(6/14)、長土呂(10/16)、 他10か所(4月~10月)
ゲジ	田口(5/25)
コガネグモ	上平尾(6/24)
サカマキガイ	泉小学校(11/2)、洞源湖(7/4)
サルノコシカケ	浅科小学校(6/15)
サワガニ	春日(9/11)、中込(5/3)、他1か所(6/25)
ジョロウグモ	田口(10/3)、他1か所(8/4)
スジブトハシリグモ	不明(5/5)
タニシ	洞源湖(6/4、7/4)、他3か所(5/1、5/4、8/2)
ダンゴムシ	浅科小学校(6/14)、北中込駅(5/2)、 成知公園(5/1)、虚空蔵山(6/21)、 他10か所(4月~8月)
ツキヨタケ	虚空蔵山(6/21)
テングタケ	虚空蔵山(6/21)
ナメクジ	浅科図書館(8/17)、他3か所(7/1、8/15、9/17)
ベニテングタケ	虚空蔵山(6/21)
ハウネンエビ	不明(6/10)
ミミズ	中込(5/3、5/4)、他4か所(5/3、5/5、7/2、7/20)
ムカデ	不明(7/30、9/19)
ワライタケ	虚空蔵山(6/21)
ワラジムシ	浅科小学校(6/15)
名称不明	平尾山(8/15)

調査員から寄せられたメッセージ

(個人情報保護等のため一部変更、省略しています。)

- ・花にも命があるってことに気づいた。色々な花の名前や特徴、鳥や昆虫の名前や特徴を知れてよかった。今までよりもっと花や鳥や昆虫を大切にしなければって思った。
- ・身の回りにこんなにも生きものがいた事にとっても驚いた。裏山にはゴミが落ちていた。だからたくさんの生きものが来ないのか。
- ・動物はみんな近づくと逃げていった。今までは、動物はあまり気にしなかったため、生きものはあまりいないかと思っていました。でも、田んぼなどに入ってみたら色々な生きものがいて驚きました。
- ・なんとなくタンポポやテントウムシを見ていたけど、一つ一つ特徴があるのを初めて知りました。
- ・意外にたくさんの虫がいることがわかりました。しかも、いろいろな虫がさわれるようになりました。
- ・いろいろな自然にふれあえました。前は虫は好きではなくきれいでした。ですが今、虫が1匹でも好きになったように感じました。他に花にもふれあえて一歩先にすすめたように感じました。鳥や虫、花などにも、前より好きになっていったように感じます。なので、この調査が終わっても、虫や花、動物(自然)にふれあっていきたいです。この機会に私はいろいろなことを学びました。
- ・いつもあまり観察したことがなかったからおもしろかった。いつも行ってる場所こんなものがあつたんだときづいた。
- ・子どもが小学生のころセイヨウタンポポ撲滅委員会なるものを一人で立ち上げてせつせとセイヨウタンポポを抜いていたのをなつかしく思い出しました。
- ・佐久市でいろいろな生き物が生息していて、初めて見るのもあつたしタンポポには種類があつて、タンポポを見る時に友達や家族に教えてあげたい。調べる生き物も見つけられないのもあつたけど楽しかった。

考察専門員の先生から

・篠澤 明剛先生(哺乳類、魚類、両生類、爬虫類)

今回は大変多くの報告があり、市民の皆様が、いかに緑や環境に対する関心があるのか、実感できました。また、非常に熱心で、心のこもった報告も多く有難い限りです。

佐久市に生息するヤモリですが、浅科地区、浅間地区、東地区周辺の報告が多かったようです。これが意味するところは、今現在は不明ですが、今後の環境調査により、その理由も判明してくると思われれます。

そのためにもこの調査の継続が望まれます。今後も多くの皆様方のご理解とご協力をいただきながら、佐久市の素晴らしい自然が守られ続けることに期待します。

・金子 順一郎 先生 (昆虫類)

ゲンゴロウと言う種類の昆虫は、環境省によって絶滅危惧種(絶滅危惧Ⅱ類)に指定されるほど、全国的には珍しい昆虫です。ところが佐久市には昔からたくさん生息していたようで、これを食べる文化まであります。この珍しい虫が、食事に使うほどたくさん採れるという事は、佐久市の自然を特徴づけるユニークな点と言えるでしょう。身近で普通にゲンゴロウが見られる、という佐久市の自然について意識してみてください。

テントウムシはナナホシテントウとテントウムシ(ナミテントウ)がたくさん見つかりました。ナミテントウは同じ種類でもさまざまな模様をしているので、気を付けないと別の種類かと思ってしまうですね。これら2種類のテントウムシはアブラムシを食べますが、ニジュウヤホシテントウのように、ジャガイモなどの葉っぱを食べる害虫もいます。それぞれどんなところで見つかるか、気を付けてみましょう。

・中山 洌 先生（植物類）

佐久市で見られるタンポポにはシナノタンポポとセイヨウタンポポの2種類があります。シナノタンポポは4月、5月に咲く春の花で、セイヨウタンポポは春から秋になるまで、時には冬にも花を咲かせています。

ところが最近、この2つのタンポポの間に雑種(アイノコタンポポ)が生まれて大変な勢いで増えているという報告が多くあります。この雑種は、形態の判明が少々面倒なのですが、花が春から秋まで咲くという特徴を持っているので、今回の調査で7～9月に見られたシナノタンポポは全てアイノコタンポポだと考えられます。

また、4、5月のシナノタンポポにもアイノコタンポポが含まれているものと思われます。タンポポについて面白いテーマが見つかりました。調べてみたいものです。

・木内 清 先生（鳥類）

ヒバリは、浅間地区、東地区、野沢地区、臼田地区の広い範囲から報告がありました。いずれも郊外の農耕地ですが、高原の牧草地からの報告もありました。特に、家畜改良センターからは複数の報告があったので、かなりの数が生息していると予想されます。浅科や望月地区からの報告はありませんでしたが、気を付けて探せば見つかるかもしれません。

「揚げひばり」と呼ばれるように空高く舞い上がって鳴く姿は春の風物詩ですが、意外なことにヒバリは地上でさえずることの方が多いのです。報告の中に「声が聞こえた」というものがありましたが、おそらく地上でさえずって姿が見えなかったものも含まれていると思われます。

ヒバリは農耕地や牧草地などの背の低い草地に生息する鳥で、そういう場所が放置されて背の高い草地や林に変わるといなくなってしまう。人間の土地利用に左右される鳥なので、今後も見守っていく必要があります。

まとめ

今回の調査では、調査対象種すべてに報告がありました。その他の生きものに関しても、身近な生きものから珍しい生きものまで、様々な報告をいただきました。このことから、佐久市には多様な生物が生息しており、多様な環境もあることが考えられます。

様々な場所で生きものが発見されるようになった一方、調査対象種については報告件数が以前より減ってしまったものが多く、シナノタンポポのように、以前からその土地にいた生きものも、外来種の影響で減ってしまったり、ヤモリやゲンゴロウのように環境の変化によって今後さらに見られなくなってしまう可能性も危惧されます。

今回の調査で見つかった生きものも、その希少価値に差はあるのかもしれませんが、身近にいる生きものを大切にしようと考えていただくきっかけになれば幸いです。

また、今回の調査では、自宅やその周辺、学校など、報告者の身近な場所での生きものの報告が目立ちました。遠くまで行かなくても、身近なところにも生きものが生息している、ということに改めて気づいた方もいるのではないのでしょうか。

佐久市の多種多様な生物や生息環境を守っていくため、今後も定期的に経過を観察していきたいと思います。

最後になりますが、ページの都合によりお寄せいただいた写真や感想のすべてをご紹介できませんでしたことをお詫びいたします。

今年度も多くの皆様に調査にご協力いただきましたことを改めて感謝申し上げます。

(文責:環境政策課)



編集

佐久市役所 環境部 環境政策課

電話：0267-62-2917

FAX：0267-62-2289

令和4年3月4日